



いまばり

市議会だより

Contents

議会役員・会派別議員名簿……	2	予算特別委員会委員長報告(概要)……	8
委員会構成……	3	議案の審議結果……	10
質疑・一般質問……	4	議会日誌……	12
委員会審査……	7	人事案件……	12

令和5年度 一般会計予算
752億5,000万円 原案可決

今治市議会HP
はこちら



よしうみバラ公園 (吉海町)

2月21日の臨時会において、
議会役員と委員会の構成が決定しました。



議長
木村 文広



副議長
山岡 健一



監査委員
平田 秀夫

今治市議会 会派別議員名簿

会 派 名	所 属 議 員
こうめいとう党 公 明 党	○谷 口 芳 史 永 井 隆 文 渡 部 豊
おとわかいかい お 音 輪 会	○矢 野 雄 嗣 達 川 雄 一 郎 平 田 秀 夫
せいふうかいかい 清 風 会	○藤 原 秀 博 上 村 悦 男 壺 内 和 彦 森 本 真 博
しんせいとかいかい 新 生 会	○堀 田 順 人 中 村 卓 三 加 藤 明
せいじょうかいかい 政 常 会	○越 智 豊 内 山 葉 子 羽 藤 謙 司
そうせいとかいかい 創 政 会	○近 藤 博 越 智 忍 木 村 文 広 松 田 敏 彦
けんよとかいかい 権 輿 会	○野 間 有 造 丹 下 大 輔 山 岡 健 一
じょすいかいかい 如 水 会	寺 井 政 博 森 京 典
にほんきょうさんとう 日 本 共 産 党	松 田 澄 子
ゆうふうかいかい 優 風 会	黒 川 美 樹

会派届出順 令和5年2月21日 現在（議席順）

○会派代表者

委員会構成

●**常任委員会**（所管する部局等については4月1日現在のものを記載しています。）

総務委員会	
総務部、総合政策部、地域振興部、出納室、消防本部、消防署、市議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の各所管事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項	
委員長 丹下 大輔 副委員長 上村 悦男	達川雄一郎 羽藤 謙司 木村 文広 森 京典 中村 卓三

教育厚生委員会	
健康福祉部、こども未来部、福祉事務所、市民環境部（環境衛生に関する事項を除く）及び教育委員会の各所管事項	
委員長 壺内 和彦 副委員長 内山 葉子	黒川 美樹 松田 澄子 渡部 豊 近藤 博 平田 秀夫

産業環境委員会	
市民環境部（環境衛生に関する事項に限る。）、産業部及び農業委員会の各所管事項	
委員長 越智 忍 副委員長 森本 真博	山岡 健一 谷口 芳史 越智 豊 寺井 政博 堀田 順人

建設水道委員会	
建設部及び上下水道部の各所管事項	
委員長 永井 隆文 副委員長 野間 有造	藤原 秀博 矢野 雄嗣 加藤 明 松田 敏彦

●議会運営委員会

議長の諮問、議会の円滑な運営を図るため、議会運営委員会が設置されています。	
委員長 近藤 博 副委員長 谷口 芳史	内山 葉子 丹下 大輔 藤原 秀博 矢野 雄嗣 加藤 明

●特別委員会

特定の問題や事件について、特に審査や調査研究の必要がある場合、議会の議決により、特別委員会が設置されます。

広報広聴特別委員会	
委員長 松田 敏彦 副委員長 松田 澄子	上村 悦男 永井 隆文 野間 有造 越智 豊 中村 卓三 平田 秀夫

地域振興特別委員会	
委員長 矢野 雄嗣 副委員長 黒川 美樹	内山 葉子 壺内 和彦 山岡 健一 谷口 芳史 近藤 博 森 京典 堀田 順人

スポーツ振興特別委員会	
委員長 渡部 豊 副委員長 達川雄一郎	丹下 大輔 森本 真博 羽藤 謙司 藤原 秀博 越智 忍 加藤 明 寺井 政博

予算特別委員会	
委員長 越智 豊 副委員長 谷口 芳史	内山 葉子 上村 悦男 丹下 大輔 松田 澄子 達川雄一郎 藤原 秀博 越智 忍 近藤 博 森 京典 加藤 明

3月定例会のあらまし



今治市議会
(会議録の閲覧と検索)

閲覧期間
令和5年6月上旬以降



YouTube
(今治市議会)

閲覧期間
令和5年5月31日まで

今定例会は、2日から24日までの23日間の会期で開催され、2日の本会議では、令和4年度に関する補正予算等が提案され、委員会審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。この後、令和5年度一般会計予算ほか40議案が提案されました。8日から10日の3日間、9人の議員が提案された議案への質疑や一般質問を行い、理事者からの答弁を得ました。10日には、提案された議案の委員会付託を行いました。次いで、議会運営委員会から委員会条例の改正の発議があり、原案のとおり可決しました。

13日から17日の間、予算特別委員会、常任委員会を開催し、付託された議案等の審査を行いました。

24日の本会議では、審査を行った各委員会の委員長報告の後、議案等について採決を行い、議案についてはいずれも原案のとおり可決し、3件の陳情については不採択となりました。この後、理事者から和解についてと教育委員会委員の任命についてほか2件の追加提案があり、いずれも原案のとおり可決及び同意し、最後に市長の閉会挨拶を行い、今定例会を閉会しました。

3月定例会

質疑

一般質問



矢野 雄嗣
(音輪会)

市長就任後の2年間で振り返って

Q マニフェストの中で掲げた200以上の項目について現段階での進捗と取組状況をお伺いしたい。

A 200項目のうち、既に達成しているもの・達成に向けて進めているものは、34項目、17パーセント。一部のみ実施しているもの・実施予定のものは、138項目、69パーセント。残る28項目、14パーセントの公約については検討中であるが、今後、社会経済情勢の変化に合わせ、公約を改定する中で、「どうすればできるのか」という観点で再点検していきたい。

Q この2年間で市長自身どのように評価されているのかお伺いしたい。

A 市政に対する最終的な評価は、市民の皆様から頂く評価ではあるが、現段階で自己評価をするなら「いまだ道半ば」だと考えている。任期4年の折り返し点が過ぎたが、すべての政策のベースは「優しさ」であることを肝に銘じ、「市民が真ん中」の基本理念のもと、変化を恐れずアグレッシブに、これからの2年間で全力で駆け抜きたい。

また、2年後に迎える合併20周年に向け、今治に関わる多くの方々、それぞれの思いを大切に、一体感を感じることができるとして、未来を創り上げていきたいと考えている。



渡部 豊
(公明党)

商品中古軽自動車等への軽自動車税(種別割)の免除について

Q 本市における地方税である市税としての軽自動車税の商品中古軽自動車への課税に関して、社会情勢の激変下における市内事業者支援の観点からも、その免除を早急に実現するように強く求めます。

軽自動車等に課税を免除する自治体も徐々に増えつつあり、政令市では半分の10市において、中国地方では107の自治体のうち25団体において免除を始めておりますが、県内はもとより四国内の自治体では免除している自治体はありません。公道を走行しなければ、道路を損傷させることもなく、免除することも理解できるところです。

今後、公道を走行していかないことの確認方法など、先行自治体の取扱いを調査するとともに、県内外各市の動向も注視し、検討を進めてまいります。

ほかの質疑・一般質問

- ・18歳年度末までの医療費無料化について
- ・子育て支援について
- ・紙おむつのサブスクサービス導入について
- ・サーキュラーエコノミー循環経済システムについて
- ・下水汚泥の肥料としての活用について
- ・地元の事業者支援について



谷口 芳史
(公明党)

公園について

Q

子どもの遊び場、居場所として屋外では街区公園などの子どものための公園が子育て支援にとって大事な施設です。子育て支援のため、子どものための公園の配置について、どのようなお考えなのかお聞かせください。本市には大型遊具のある公園が数か所ありますが、今後の整備についてお聞かせください。

A

「子どもが真ん中親会議」などで3歳までのお子さんでも安心して遊べる幼児向け遊具を備えた公園を整備してほしいとの要望があがっていることを踏まえ、「ネウボラのサテライト機能」の一つとして子どものための公園の整備を進めてまいります。

また大型遊具が設置されて比較的大規模な公園の一部を「ネウボラのサテライト機能」を持った子供たちのための公園としてリノベーションすることを考えています。また公園整備を行う際にはユニバーサルデザインを取り入れたインクルーシブな遊具、誰もが一緒に遊べる遊具が揃うことができる遊具、思い切り体を動かすことのできる遊具などを地域の特性に合わせて導入することで子供から高齢者まで多くの市民の皆さまに楽しんで頂ける様な特色を持った公園にしたいと考えており、老朽化した遊具の更新なども含め、優先順位を付けながら計画的な整備を進めてまいります。

ほかの質疑・一般質問

- ・今治版ネウボラ拠点施設の整備について
- ・小中一貫教育について
- ・児童生徒の読解力について
- ・避難行動要支援者について



上村 悦男
(清風会)

「市民が真ん中」の理念について

Q

市民が真ん中検討委員会が今まで行った協議の進捗状況及び今後の予定はどのようなになっているか。

A

市民が真ん中検討委員会は、政策等の形成過程において、市民の声を行政に反映させ、市民と行政が一緒になって地域課題の解決を進めるための調査、審議等を行うことを目的として設置している機関で、「市民参画」の具体的な方法等について定める「市民参画の指針」について検討している。協議の進捗状況として、指針に盛り込む項目として「市民の役割」、「市

の機関の役割・責務」、「市民参画の対象となる行政活動の種類や範囲」、「市民参画の手段」などについて議論を重ねている。あと数回の検討委員会の開催により、「市民参画の指針」（案）の策定が完了し、その後パブリックコメントを経て、夏頃には指針の制定となる見込みである。指針制定後は、大規模な施設の建設や重要な計画の策定などの際には、この指針に沿って、市民の意見を聞き、各事業に市民の声を反映させるよう取り組んでいく。

ほかの質疑・一般質問

- ・今治版ネウボラ中核施設について
- ・今治市の教育について



達川雄一郎
(音輪会)

議案第9号「令和5年度今治市一般会計予算」について

Q

現在では小中学校の普通教室にエアコンが設置をされている。不登校気味の児童生徒が登校した際に、安心して学習ができる環境を確保することは急務である。今回の予算案で不登校児童生徒を支援するための教室数、位置的な配慮、サポートの体制などは整うのか。

A

来年度は事業を拡充し、新たにモデル校以外への別室の整備及び空調設備の設置、不登校対策支援員の配置をすることで、更に不登校支援を充実させる。県教

消防の救急活動状況について

Q

全国的にコロナ禍で隊員の長時間活動が常態化している。日々使命感を持って活動している隊員が、疲労困憊を要因として事故を起こすことはできない。感染対策と救急体制の現状を問う。

A

令和3年の本市救急隊の119番通報から現場到着までの平均所要時間は県内自治体中第2位の早さであり、各部署の連携が噛み合った結果であると考えている。県内初の日勤救急隊の創設や、オゾンによる感染防止対策を徹底するなど、これからも熱く強い使命感を持って、市民の命と安全安心な日常を守り続ける。



永井 隆文
(公明党)

障がい者や高齢者の投票支援について

Q 選挙支援カード導入について

A 選挙支援カードは、選挙人の方が投票する際に必要とするサポートを事前に記入しておくことで、投票手続きが非常にスムーズに行えるとともに、投票をサポートする側にとりましても、大変有効な支援手段でありますことから、早速、4月9日執行予定の県議会議員選挙から、選挙支援カードを導入することで、準備を進めてまいります。投票所における、よくあるお問い合わせやお困りごとについて、イラストや文字で記載したコミュニケーションボードも合わせて導入していく予定です。

手話言語条例について

Q 手話言語条例制定に対する本市の考えについて

A 聴覚に障がいがある方にとって必要とされるコミュニケーションの方法は手話以外にも筆談や口話、補聴器などがあり最近では音声の文字変換アプリなど様々なものが提供されているなど、個人のニーズに寄り添った多様な対応が必要となつてきております。多種多様な価値観のもと、誰もが尊重され活躍できる社会を目指すことが求められている時代を迎え、議員提案の手話言語条例が良いのか、あるいは、もう少し幅広く捉えて、障がいのある方々を含めた、誰にでもやさしいまちづくりを進めていく中で、例えば鎌倉市の「共生社会の実現をめざす条例」のようなものが良いのかも含めて、今後、議論を深めていく必要があると思っております。



加藤 明
(新生会)

水道料金の改定について

Q 電力各社は、4月もしくは5月以降に引き上げが予想され、食料品も同様で、多くの品目が値上げを表明しています。

A また、当初予算の個人市民税を見てみますと、令和5年度の市民所得の減少が窺えます。現在の社会情勢下において、市民生活の疲弊が原因として先送りされた水道料金改定がなぜ今回提案されたのかお伺いをいたします。

A 水道は市民生活に欠かすことのできないライフラインとして、安心・安全な水を継続的に供給することが必要不可欠です。1年前に

高橋浄水場が完成いたしました。今後も、施設や管路の計画的な更新、耐震化、漏水対策等の取り組みが必要となることは、現在策定中の「今治市水道ビジョン改訂版」でも明らかになっております。市民の皆様にもその実態をお示しさせていただくことで、計画的な設備投資を行う必要性は、ご理解いただけるのではないかと考えております。

独立採算制を基本とする水道事業において、負担を次世代へ先送りすることなく、また、世代間の公平性を保つためにも、これ以上、改定期間を引き延ばすことはできないと判断し、今回、料金改定という苦渋の選択をさせていただきました。

今後とも、水道事業の経営改善を進めるとともに、市民の皆様への説明責任をしっかりと果たしながら経営に取り組んで参ります。



松田 澄子
(日本共産党)

南海トラフ地震について

Q 30年以内に起こるとされている南海トラフ地震に対する備えについて伺う。

A 愛媛県が公表した本市の被害想定は最大6強、死者641名、家屋の全崩壊棟数9097棟と甚大な被害が発生すると想定されている。同報系防災行政無線の整備、ラジオの販売促進、防災士の育成、自主防災組織の活動支援、組織率の向上にも引き続き取り組んでいく。来年度から防災安全局を設置し、地域に応じた実効性の高い防災体制に取り組んでいく。

Q 避難経路について旅行者にも知らせていくにはどうしていくのか。

A 愛媛県が観光客向け災害時避難誘導モデルの実証実験で、警報をリアルタイムで取り込み、災害リスクを避けた安全なルートを示すスマートフォンなどで確認できるシステムが告知されている。

Q 避難所の備蓄について伺う。

A 避難所の電源確保について「災害用備蓄物資整備計画」に基づき、発電機の備蓄を進めており、水防、防災倉庫、旧市内10校の小中学校、各支所に分散し、1177台の発電機がある。水、食料も被害想定1.2倍、3万1千人分を確保している。

ほかの質疑・一般質問

- 会計年度任用職員について
- 保育所給食について



内山 葉子
(政常会)

奨学金返済支援制度
導入企業等応援事業
について

Q

2021年度は奨学金を利用している85万人は全学生の3割以上を占め、奨学金返済に苦しむ実態が社会問題となっている。奨学金の返還支援は、若年層の移住定住への呼び水となるはず。平成30年度から県と企業が連携して奨学金の返済支援を行っており、新たに本市が支援を行うことで、市内企業と従業員の実質負担が6分の1となるが、市内登録企業がまだ13社、今治市利用者はまだ数名が現状。今年度予算も84万円しかついていない。今治市は企業とタッグを組み、広報に努める事が必ずかと。補助金を本市独自で増やしてはどうか。また、特定の職業に就くことを要件とする自治体もあり、高知県四万十

町は看護師・保育士・社会福祉士などを対象に、年間24万円を上限に支援している。子どもたちの進学しやすい環境整備と市の将来を担う人材の定住促進を目的とし、条件の幅を広げ、本市も返還支援対策強化を行って欲しいが所見を伺う。

A

本制度は、ものづくり産業分野、観光分野の3つの分野が対象業種となっている。まずは今後しっかりと本事業の周知を図ることで、参加企業や従業員を増やし、企業の人材確保と若者の地元定着につなげていくと共に、企業や学生のニーズも勘案しながら、引き続き新たな取り組みに向けて調査研究を行って参りたい。

ほかの質疑・一般質問

- ・「imabariブランド推進事業ライブコマース」について
- ・求職者や市内で働く方をデジタル人材へと育成するリスキリング支援について
- ・食と農のまちづくり推進費について

委員会審査

総務委員会

今治市行政組織条例の一部を改正する条例制定について

地域振興部の新設、産業部の交流振興局を総合政策部へ移管等することに伴う、条項の追加、事務分掌の変更。

今治市支所設置条例の一部を改正する条例制定について

伯方支所の移転に伴い、支所の位置を改正しようとするもの。施行日は、令和5年12月31日までの間において規則で定める日。

教育厚生委員会

今治市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正

する条例制定について
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正をするもの。

今治市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正をするもの。

今治市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正をするもの。

今治市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について

医療費助成の対象者の範囲を拡大しようとするもの。

今治市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例制定について

医療費助成の申請者の範囲を拡大しようとするもの。

今治市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金の額を改定するもの。

産業環境委員会

今治市企業立地促進条例の一部を改正する条例制定について

奨励金の交付要件等を緩和するもの。

今治市なみかた海の交流センター条例の一部を改正する条例制定について

財産の無償貸付について
(今治市玉川龍岡活性化センター)

今治市玉川龍岡活性化センターの管理運営にあたり、地域住民のふれあいと地域農業の振興を図るため、公募により選定した相手方に財産を無償で貸し付けるもの。

建設水道委員会

今治市公園条例の一部を改正する条例制定について

- 1 宮窪橋夢公園を設置するもの。
- 2 桜井総合公園の球技場の夜間照明施設及びモノレールカーを廃止するもの。

今治市営住宅条例制定について

- 1 今治市営住宅条例に今治市特定住宅条例、今治市特定公共賃貸住宅条例、今治市再開発住宅条例、今治市定住促進住宅条例及び今治市小集落改良住宅条例を統合すると

市議会ホームページへアクセスしてませんか



市議会の活動をより詳細にお伝えするため、ホームページを開設しています。ぜひアクセスください。



アドレス <https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai>

- とともに、指定管理者制度を導入するため、規定を整備するもの。
- 1 民法の改正に伴い、所要の改正をするもの。
 - 2 水道料金を改定するもの。
 - 3 徳重団地を廃止するもの。
- て **今治市給水条例の一部を改正する条例制定について**

予算特別委員会委員長報告（概要）

3月13日、14日及び15日の3日間にわたり予算特別委員会を開催し、議案第9号「令和5年度今治市一般会計予算」ほか令和5年度当初予算関連議案の審査を行いました。3月24日の本会議において、その審査の過程において議論された主な事項と委員から出された意見について委員長が報告を行いました。以下、審査の過程におきまして議論されました主な事項について、その概要をお知らせします。

■議案第9号「令和5年度今治市一般会計予算」

歳入

Q 18款寄附金に関し、ふるさと納税は自治体経営上、非常に大きな財源となるが、増額の見通しや今後の推移について。

A ふるさと納税は今治市単体でも伸びており、全国でも平均的に伸びている。全国の他の自治体に負けないように、増額を見込んで対外的なPRを積極的にしていきたい。

歳出2款総務費

Q 広報活動推進事業委託料に関し、令和4年度の活動内容と効果について。

A テレビ広報番組については、2月末時点で本放送と再放送と合わせて視聴率は16.6%であり、YouTubeを活用した広告で番組を配信しているほか、多くの方々に今治市の情報を伝えることができた。

歳出3款民生費

Q 防犯灯設置費について、令和5年度予算でどの程度の防犯灯がLED化されるのか。

A 現在、市内でLED化されていない防犯灯は約10,000灯あり、令和5年度予算で1,000灯分を想定しており、今後10年かけて全ての防犯灯のLED化を考えている。

歳出6款農林水産業費

Q 老朽ため池整備事業費に関し、廃止事業の詳細について。

A 予算計上した3件のため池について、近年、農業用水として利用していない状態であり、維持管理も困難なことから地元部落から廃止要望を受けたことに加え、当該ため池は防災重点ため池に指定されており、堤体が決壊した場合に、下流域の住民に重大な人的被害をもたらす恐れがあることから廃止するものである。

歳出8款土木費

Q 道路橋りょう補修事業費について、把握している箇所と補修の進捗状況等について。

A 橋りょうは市内に1,420橋あり、令和4年9月までで早期に補修が必要であると診断された橋りょうは109橋、そのうち令和2年度に49橋、令和3年度に7橋の修繕工事を実施、令和4年度中に13橋の修繕を行ない、補修率は63.3%となる予定である。

歳出9款消防費

Q 今治AEDステーション事業について、どのくらいの設置数を検討しているか。

A 市内に設置しているAED約730箇所のうち、234箇所が市の公共施設であり、まずは、市の公共施設234箇所を登録し認定事業所ステッカーの掲示を行い、広報等を実施し協力事業者等も募集していきたい。

歳出第10款教育費

Q 学習支援・ドリルソフト導入事業に関する成果について。

A 定着度の確認や学び直しに効果があり、児童生徒からも非常に好評であった。

Q 伯方支所跡地活用事業のうち体育館の債務負担行為に関する財源と、地元寄附金について。

A 財源は市債を充当し、「市の実質負担額相当」については地元からの寄附の申し出がある。

■議案第11号「令和5年度今治市墓園事業特別会計予算」

Q 墓園事業の募集動向について。

A 令和4年度については、24基、令和3年度が31基、令和2年度が24基の使用許可を出している。

■議案第16号「令和5年度今治市国民健康保険特別会計予算」

Q 中学生までの医療費を無償化することによって、国庫負担額が減額措置されているが、減額の影響は、令和5年度でどれくらい見込んでいるのか。

A 令和3年度実績で減額されている額は約650万円となっており、この程度で推移するのではないかと考えている。

■議案第19号「令和5年度今治市水道事業会計予算」

Q 高橋馬越連絡管整備事業の必要性や緊急性について。

A 地震災害時や渇水時に備えたバックアップ体制の構築と、玉川ダムからの取水した水の運用実績をつくることで、水利権の確保と造水費用の低下に繋げることが喫緊の課題である。

本会議の中継について

今治市議会では、CATVで本会議の様を生放送しています。また、本会議のインターネット中継も行っており、パソコン、スマートフォンなどにより、ライブ中継、録画放送をご覧ください。

本会議のインターネット中継の視聴方法

今治市議会ホームページの

「市議会インターネット中継」をクリックする。

<https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/live>



ここをクリック

市議会に対するご意見・ご要望をE-mailまたはFAXでお寄せください。
お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考とさせていただきます。

E-mail : gikai@imabari-city.jp



令和5年2月臨時会 議案の審議結果

番号	件名	結果	番号	件名	結果
		2月21日議決	発議 2	特別委員会の設置について	原案可決(全会一致)
報告 1	専決処分について ・損害賠償額の決定及び和解について ・損害賠償額の決定及び和解について ・損害賠償額の決定及び和解について ・損害賠償額の決定及び和解について ・損害賠償額の決定及び和解について ・損害賠償額の決定及び和解について ・損害賠償額の決定及び和解について ・今治市村上海賊ミュージアム条例の一部を改正する条例制定について ・今治市大三島美術館条例の一部を改正する条例制定について	受 理		議長の辞職について	許 可
				議長の選挙	投 票
				副議長の辞職について	許 可
				副議長の選挙	投 票
			議案 1	教育長の任命について	原案同意(全会一致)
			議案 2	監査委員の選任について	原案同意(全会一致)
				常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任	選 任
				特別委員会委員の選任	選 任
発議 1	特別委員会の変更について	原案可決(全会一致)		常任委員会及び議会運営委員会の所管事務調査について	承 認

令和5年3月定例会 議案の審議結果

番号	件名	結果	番号	件名	結果
		3月2日議決	議案 19	令和5年度 今治市水道事業会計予算	原案可決(賛成多数)
議案 3	令和4年度 今治市一般会計補正予算(第8号)	原案可決(全会一致)	議案 20	令和5年度 今治市簡易水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案 4	令和4年度 今治市港湾事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)	議案 21	令和5年度 今治市工業用水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案 5	令和4年度 今治市小規模下水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)	議案 22	令和5年度 今治市下水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案 6	令和4年度 今治市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)	議案 23	今治市支所設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 7	令和4年度 今治市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)	議案 24	今治市建築関係手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 8	今治市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)	議案 25	今治市開発総合センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
		3月10日議決	議案 26	今治市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
発議 3	今治市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)	議案 27	今治市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
		3月24日議決	議案 28	今治市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 9	令和5年度 今治市一般会計予算	原案可決(賛成多数)	議案 29	今治市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 10	令和5年度 今治市用地取得特別会計予算	原案可決(全会一致)	議案 30	今治市養護老人ホーム条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 11	令和5年度 今治市墓園事業特別会計予算	原案可決(全会一致)	議案 31	今治市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 12	令和5年度 今治市船舶交通特別会計予算	原案可決(全会一致)	議案 32	今治市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 13	令和5年度 今治市港湾事業特別会計予算	原案可決(全会一致)	議案 33	今治市企業立地促進条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 14	令和5年度 今治市鉱泉供給事業特別会計予算	原案可決(全会一致)	議案 34	今治市なみかた海の交流センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 15	令和5年度 今治市駐車場特別会計予算	原案可決(全会一致)	議案 35	今治市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 16	令和5年度 今治市国民健康保険特別会計予算	原案可決(全会一致)			
議案 17	令和5年度 今治市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(全会一致)			
議案 18	令和5年度 今治市介護保険特別会計予算	原案可決(全会一致)			

番号	件名	結果
議案36	今治市営住宅条例制定について	原案可決(全会一致)
議案37	今治市港湾施設管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案38	今治市公共下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案39	今治市小規模下水道事業受益者分担に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案40	今治市給水条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(賛成多数)
議案41	財産の無償貸付について(今治市玉川龍岡活性化センター)	原案可決(全会一致)
議案42	新たに生じた土地の確認について(大三島地区造船振興土地造成地)	原案可決(全会一致)
議案43	字の区域の変更について(大三島地区造船振興土地造成地)	原案可決(全会一致)
議案44	市営土地改良事業の施行について(旦地区)	原案可決(全会一致)
議案45	市営土地改良事業の施行について(宅間地区)	原案可決(全会一致)

番号	件名	結果
議案46	市営土地改良事業の施行の変更について(関前大下地区)	原案可決(全会一致)
議案47	船舶交通特別会計への繰入れについて(令和5年度)	原案可決(全会一致)
議案48	港湾事業特別会計への繰入れについて(令和5年度)	原案可決(全会一致)
議案49	和解について	原案可決(全会一致)
議案50	教育委員会委員の任命について	原案同意(全会一致)
議案51	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意(全会一致)
議案52	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意(全会一致)
	愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	指名推選
	常任委員会の所管事務調査について	承認

令和5年3月定例会 陳情の審議結果

【前議会から継続しているもの】

番号	件名	結果
陳情第6号 (R4.6.10受理)	加齢性難聴者への補助器具購入に対する公的補助制度創設を求める陳情について	継続審査

【今議会に提出されたもの】

番号	件名	結果
陳情第7号 (R5.3.2受理)	こども未来応援金給付事業対象変更の陳情について	不採択(賛成少数)
陳情第8号 (R5.3.2受理)	「こども未来応援金事業」の是正を求める陳情について	不採択(賛成少数)
陳情第9号 (R5.3.2受理)	「安保3文書」改訂の閣議決定撤回を求める意見書の提出を求める陳情	不採択(賛成少数)

各議員の議案等に対する賛否状況

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22	23	26	27	28	29	30												
	内山葉子	上村悦男	丹下大輔	黒川美樹	壺内和彦	森本真博	永井隆文	松田澄子	達川雄一郎	羽藤謙一	山岡健一	野間有造	藤原秀博	越智忍	木村文広	渡部豊	谷口芳史	近藤博嗣	矢野雄典	森京典	越智豊	中村卓三	平田秀夫	加藤明	寺井政博	松田敏彦	堀田順人												
議案 9	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 19	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案 40	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
陳情 7	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
陳情 8	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
陳情 9	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				

※ ○：賛成 ×：反対

※ 木村文広議員は、議長職のため表決に加わっておりません。

議会日誌



令和4年11月
29日 議員協議会

” 東予地区市議会議長会定期総会
” 総務委員協議会
” 松山市議会議員視察

政委員会 正副委員長会議、第160回委員会、意見交換会、全国高速自動車道市議会協議会第2回理事会、第49回定期総会出席のため東京都へ2月1日まで出張

12月

2日 四国中央市議会議長、副議長就任挨拶のため来局

22日 矢野議長今治市・パナマ市姉妹都市提携45周年パナマ交流推進事業出席のためパナマへ28日まで出張

2月 7日 産業環境委員協議会

21日 会派代表者会議

23日 越智(忍)副議長、内山、上村、黒川、壺内、森本、永井、松田(澄)、達川、羽藤、山岡、野間、藤原、木村、渡部、谷口、森、越智(豊)、平田、松田(敏)議員愛媛県市議会議長光振興議員連盟広域観光推進研修会出席のため宇和島市へ出張

2月

7日 産業環境委員協議会

” 広報広聴特別委員

” 総務委員協議会

” 議員協議会

令和5年1月

4日 矢野議長、越智(忍)副議長2023年賀交歓会出席のため松山市へ出張

9日 総務委員協議会

” 議員協議会

13日 矢野議長、平田議員松山市議会正副議長表敬訪問のため松山市へ出張

10日 矢野議長弘前市議会表敬訪問、第47回弘前城雪燈籠まつり出席のため青森県弘前市へ、i:imabari! Fes in TOKYO 2023出席のため東京都へ12日まで出張

” 議員協議会

16日 産業環境委員協議会

26日 産業環境委員協議会

14日 伊予地区ごみ処理施設管理組合議会議員視察

” ふくおか県央環境広域施設組合議会議員視察

27日 山口県山口市議会議員視察

” 議員協議会

17日 教育厚生委員協議会

31日 矢野議長全国市議会議長会 地方財

16日 会派代表者会議

人事案件 (敬称略)

” 議会運営委員会
20日 矢野議長愛媛県政発足150年記念式典出席のため松山市へ出張
21日 第1回臨時会
22日 委員長会議
” 木村議長、山岡副議長就任挨拶のため四国中央市、新居浜市へ出張

3月24日の定例会において、次の方々を任命等することに決定しました。

人権擁護委員候補者の推薦

- ・ 神野 恵 (再任)
- ・ 白石 博章 (再任)
- ・ 長野 好文 (再任)
- ・ 関 亮子 (再任)
- ・ 中島智佐子 (再任)
- ・ 金本ひろみ (再任)
- ・ 尾上 勝利 (再任)
- ・ 渡部 守 (再任)
- ・ 村上 菊美 (新任)
- ・ 八木 千花 (新任)

教育委員会委員の任命

- ・ 野間 真美 (新任)

固定資産評価審査委員会委員の選任

- ・ 木村 静夫 (再任)
- ・ 鳥生 伸也 (再任)
- ・ 村越 卓郎 (再任)
- ・ 石丸真智子 (再任)
- ・ 近藤 貞明 (再任)
- ・ 越智 洋子 (新任)

愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

- ・ 矢野 雄嗣議員

「市議会だより」のアプリ配信

マチイロ 検索

無料アプリ「マチイロ」を利用してスマートフォンなどで閲覧できるようになりました。
※アプリは無料で利用できますが、所定の通信料がかかります。



広報広聴特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
平田	中村	越智	野間	永井	上村	松田	松田
秀夫	卓三	豊	有造	隆文	悦男	澄子	敏彦